



桜の丘

No.10

令和2年3月1日
石巻市立桜坂高等学校
PTA広報委員会

3年1組



祝
卒業

3年2組



3年3組



3年4組



3年5組

最後にになりましたが、会員の皆様、一年間PTA活動にご理解ご協力ありがとうございました。会員としての三年間は忙しくとも実りのあるものでした。会長として次年度に無事引き継ぎできるのも、校長先生はじめ先生方、そして役員の皆様のお力添えがあったのだと思っております。ありがとうございました。

卒業生の皆さんは、これから選んだ道をそれぞれに進んでいきます。保護者や周囲の大人が守ってくれる生活は、ときに鬱陶しく感じていたかもしれません。しかしこれからは子ども扱いはされません。ですがどんな困難に対しても知恵を絞り行動を起こして乗り越えて欲しいです。また反対にどうしても達成されないと感じたならば、周りを見回して欲しいのです。必ず助けてくれる人がいることを忘れず、そして誰かが困っているときは皆さんがその人の力になってあげられるよう、しっかりと力をつけて下さい。桜坂高校の校訓である「英知」「精励」「和敬」をいつも心に留めて、素敵な女性になることを期待しています。

一、二学年の皆さん、高校生活はあっという間です。残されている時間を大切に過して下さい。



PTA会長
遠藤 知紗

力強く、
しなやかな女性へ



教頭
遠藤 義幸

「卒業生の皆さんへ」

三年生生徒の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様には、ご息女のご卒業、心よりお祝い申し上げます。また、本校PTA活動には、文化祭での模擬店・ボランティア清掃・研修会・会報発行等、数々のご支援・ご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

さて、今年は、東京で二度目のオリンピックが開催されます。世界各国から一流の選手たちが集まり、それまで積み上げてきた努力の成果を発揮し合う姿に、心を熱くする人も少なくないと思います。多くのことを犠牲にして、競技に打ち込み努力してきた選手たちを思い、支えてくれた人たちに感謝する言葉が、多くの感動を与えてくれます。本日卒業を迎える皆さんも、そんな選手たちの姿に、部活動や学習に励んだ自分を重ね、高校生活を懐かしく感じる事でしょう。その際には、選手同様、高校生活を支えてくれた家族への感謝の気持ちを言葉にすることを忘れないでください。

これから卒業生の皆さんは、「社会人という競技」の選手になります。今まで経験したことのない困難に立ち向かい、競技しなければならぬ時が来るでしょう。自分だけが苦しい、自分には達成できないと思うようなことも、楽しい時間を犠牲にしなければならぬということもあるでしょう。しかし、努力している人には必ず支えてあげようとする人が現れます。苦しいのは自分ひとりだけではありません。頑張った成果を認めたらう場面が、必ずやってきます。卒業生の皆さんなら、学級活動やさくらプロジェクト、部活動や委員会活動等、桜坂高校での学びを生かし、頑張れると信じています。そして、いつの日か多くの努力している人たちを支えられる、そんな大人の素敵な女性に成長していただけることを確信しています。

令和最初であり、日本でオリンピックが開催される、記憶に残る年の卒業生となる皆さんが、校歌にある「夢見る花を開く」人生を歩むことを祈念しています。

「from now on」

これから



3学年主任
佐藤 淳

卒業生のみなさん、おめでとうございます。桜坂高校での三年間はいかがだったでしょうか。生涯にわたって付き合えるような素敵な人との出会いはありましたか。何かに集中できるようなことを見つけれましたか。高校の三年間はこれから社会に巣立っていくために必要なことを多く身につけるための、人生において最も重要な時代ではないかと思います。

卒業後はそれぞれが異なる進路に進みます。その途中、いくつもの場面で様々な困難に合うことがきつとあることでしょう。そして「Heaven helps those who help themselves」「天は自ら助くる者を助く」という言葉で有名な「自助論」の作者サミュエル・スミイルズという人の言葉から三つ紹介します。まずは「自助の精神」、これは「人生は自分の手でしか開けない」、ということなんです。自分で努力せずに周りに頼るだけでは何も得られない、どのようなことに對しても成長の意欲と自助の精神で自分の人生を切り拓いていってほしいと思います。

次は「忍耐」です。「人生の

奥義の九割は快活な精神と勤勉にあり、「逆境の中でこそ若芽は強く伸びる」とあります。自分の与えられた仕事や役割に積極的に前向きな姿勢でまじめに取り組むこと。また大変な時にこそ人は学ぶことができます。困難から逃げるのではなく辛抱強くあつてほしいです。

三つ目は本校の教育の三本柱にもある「品格」です。品格とは外見的な美しさではなく、その人の内面から出る美しさで「人格」とも言えると思います。スマイルズは「人格は一生通用する唯一の宝だ!」と言っています。また「礼儀作法には金がかからない、しかも礼を尽くすだけで何でも手に入る」とも言っています。

from now on「これから」社会で学びながら常に成長し、自分を高める努力を怠らずに、そうして身につけた「人格」で礼を忘れることなく、自分の置かれた立場で十分に役割を果たせる素敵な女性になってくれることを期待しています。

最後に、これまでの三年間、生徒たちを見守り、励まし、導いてくださいました保護者のみなさま、ご家族のみなさま、そして生徒たちに様々な学びの場を提供してくださいました地域のみなさまに心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。





体育大会

10月16日水 10月17日木

よーい
スタート

やっと
見つけたよ

それー

なかなか
届かないね!

みんなで
応援するよ

団結
するよ!

「最高の体育大会」

体育大会実行委員長
林 梨乃

私は、1年生の時から体育大会実行委員に所属していました!!

昨年の体育大会とは違い10月に開催し、天候が心配でしたが熱い歓声や熱い試合のおかげで、昨年よりも盛り上がる事が出来ました。

今年はルールをしっかりと改善し進める事が出来ました。ルールを改善する事が出来たのは、先生方との信頼関係があったからだと思っています。

楽しむ出来ないも自分次第だと思うので、来年も最高の体育大会となるよう頑張ってほしいと思います。改めて石巻市立桜坂高等学校に入って良かったなと思いました。3年間最高に楽しかったです。最高の思い出になりました!ありがとうございました😊

開校記念講話

十月二十四日(木)



修学旅行

十二月三日(火)・六日(金)



1年まちなか ポスター プロジェクト



3年市役所プロジェクト

家庭クラブについて

家庭クラブ会長 初貝 優花

家庭クラブでは、ハンドメイド講習会やボランティア活動、クリスマスリース制作、地元の食材を使った料理の研究など様々な活動を行っています。

家庭クラブの活動として行っているハンドメイド講習会では、「ハーバリウム制作」を行いました。普段あまり関わることもない他学年の生徒同士がコミュニケーションをとりあいながら制作することができました。また、家庭クラブの活動を知ってもらおうきっかけにもなり、とても充実した活動になりました。家庭クラブの活動の一例としてハンドメイド講習会を紹介しましたが、家庭クラブでは様々な活動を行っています。この家庭クラブの活動を通して、皆さんに家庭クラブを知ってもらい、参加してもらいたいと思います。



生徒会活動について

生徒会長 堀 あいみ

私は生徒会役員選挙で生徒会長になり、一年生が新しく五人加わり新体制となりました。これからの生徒会活動を十三人で協力し、学校をより良くしていきたいです。

昨年の十二月に生徒会サミットに参加し、全国の学校と交流をしてきました。学校独自の活動や取り組みを聞いてとても刺激になりました。これらを更に発展させ、自校でも取り入れていきたいと考えています。

これからの生徒会活動で目標とすることは新しい活動に積極的に挑戦し、桜坂高校を更に良く、レベルアップさせたいと考えています。そのために執行部が中心となり、頑張りたいと思います。



PTA研修旅行

PTA副会長 千葉 ちか

九月二十八日にPTA研修旅行へ行ってきました。今年度の行き先は岩手県の平泉方面でした。まず初めに中尊寺へ行きました。中尊寺ではガイドさんに案内して頂き中尊寺の歴史をたくさん知る事が出来とても勉強になりました。今年度の体験は、布バックヘステンシルでの染物でした。自分でデザインや色を選び作りましたが、見ているよりも難しく、大変でしたが自分なりに満足のいく作品になりました。昼食もとても美味しく、みんなで談笑しながら食べました。

PTA研修と聞くと難しい事はかりするイメージがあると思いますが、先生方やPTA会員同士、楽しく交流しながら学ぶ事が出来ますので、ぜひ皆さんも参加してみてください。



東北高等学校空手道選抜大会を終えて

空手道部 部長 浅野 ひまり

私たち空手道部は一月二十四日、二十六日まで福島県郡山市で開催された、第三十九回東北高等学校空手道選抜大会に宮城県代表として出場して参りました。結果は団体形第三位、個人組手重量級で小山琉亜が見事優勝を果たし、三月石川県で開催される全国高等学校空手道選抜大会への切符を掴むことができました。しかし、団体組手での出場は叶えることができませんでした。課題を残す結果となりました。

これまで東北での優勝という大きな目標に向かって顧問の和地先生、コーチのもとチームが一丸となって練習を重ねてきました。試



合でその力を全て出し切ることが出来ずに終わってしまった、応援してくださったみなさんの期待に応えることが出来ませんでした。ここからゼロからのスタートだと思い、県総体に向けて一人一人がさらに勝たにこだわった試合が出来るようにしていきたいと思っています。そして、全国選抜大会では団体組手の分も団体形、個人組手で悔いのないよう、桜坂らしく戦ってきたと思います。応援ありがとうございました。

進路状況について

進路指導部長 小山 信

とうとうオリピックイヤーを迎えました。日本中の景気は、まだ好調と言われています。高卒求人票の受理状況もハローワーク石巻の発表では過去十年間で昨年に続く二番目に多い九百件だそうです。内定状況も十月末時点では三番目に高い71・6％を維持しているそうです。本校では同時期でいうと、66・7％で僅かに低い状況ではありますが、現在十二月末時点では89・5％まで上昇しています。

一方進学はというと、十二月末現在では93・0％の進学希望者が決定しています。内訳は大学短大で37・7％、専門学校で50・0％、高専・准高で5・3％その多くは夏休みから始まるAO入試と十月から始まる推薦入試による合格者です。上級学校の進学に向け今やAO入試、推薦入試が主流になっています。来年度、大学入試が大きく変わります。試験内容・実施時期だけでなく大学は入学定員充足率（入学定員に対する入学希望者の割合）を5年前まで1・2倍までに抑えれば私学助成金が交付されていたのが、その後年々厳しくなり現在は1・0倍となっています。基準を超えると助成金は全額カットとなるため、各大学は基準内に収めるよう奮闘しています。問題はここから大学側でも定員確保に向かっていることです。つまり、指定校推薦、公募推薦、AO入試に定員を回しているということ。もちろん、この推薦は、受かる推薦ではなく、競争のある厳しい推薦であるということ。学力・意欲・志望理由・実績などありとあらゆるものがチェックされます。提出するレポートや実績や、小論文、面接の準備など、かなり専門的にしつかり勉強する必要がありそうです。だからといって安易に専門学校への進路変更はよく検討してください。進学後に後悔しないよう在学中に担任、進路指導の教員進路を考えている学校の担当者などによく話を聞くこと、実際にオープンキャンパスなどに参加して検討して下さい。

公務員合格者は僅かですが今年もおります。昨年の税務職員に続き国家公務員一般職事務で事務局に内定が決まった生徒がいます。毎日昼休みに行われる適性検査の練習会への参加、仙台の専門学校の先生を招いての講習会への参加、普段からの自宅学習など三年間の集大成として素晴らしい結果を納めることができました。

近年の進路決定までのプロセスの傾向として、保護者は「自分自身の将来だから、自分で決めなさい」と生徒任せにするものの、いざ生徒自身が希望の進路を相談すると「そんな進路は、あなたには向かない。もっと別なものを考えなさい。」などと一蹴してしまふ。何をしたいのか決められない生徒が多くなっています。これまで育て上げた我が子に合う進路を、これだけの成績と出席状況、学校生活等を振り返りながら進路決定に向けた助言を是非ご家庭で、お願いいたします。親の願いはいつの時代でも同じで、将来我が子が苦勞しないで済むような仕事に就いてほしいと願うものです。しかし、普段の学校生活や家庭生活をながしうにして良い学校に入学、良い企業に就職はできないのです。まず身近なルール（校則）を守るところから、学校と家庭とともに指導していきましょう。ご協力お願いします。生徒が希望する進路を達成できるよう全教職員で努めていきたいと思います。今後ともご支援の程、よろしくお願いたします。

1 進路希望状況(2月14日現在)

区分	大学	短期大学	専門・各種学校	高専	准高	公務員	就職	縁故	臨時的仕事	未定・その他	総数
人数	28	18	58	4	6	4	52	0	5	0	175

全体達成率
97.1%

2 就職内定状況(2月14日現在) 内定率 94.6%

区分	管内	仙台	県内	県外	公務員	縁故	総数
件数	22	11	7	9	4	0	53

3 進学合格状況(2月14日現在) 合格率 98.2%

区分	大学	短期大学	専門・各種学校	高専	准高	総数
合格者	26	18	58	4	6	112

ありのままを 受け入れる

スクールカウンセラー
大友久美恵

日々の生活のいろいろな場面、イラッとしたり、落ちこんだり、クヨクヨ気にしすぎたりすることありますよね。無意識に周りの人と同じ価値観を期待していることが多いそうです。そのため自分と違う答えが返ってくるとネガティブに反応してしまうのかもしれない。

親子の関係でも、子どもの反抗的な態度にイラッときて険悪になることもあります。受け入れてほしい欲求が強い年代は反発したり近よってきたりくり返します。これも同じく子どもに期待して、なぜできないの！なぜわかってくれないの！と。一呼吸おかず感情に感情で返すと悪循環が続きます。相手が子どもでも大人でもガミガミ言われるとイライラしてますます反発します。意欲もなくなります。正論を言われれば言われるほど不信感を持ってしまう。

この悪循環をたち切るには相手のありのままを受け入れることから始まります。それぞれの気持ち、考え、タイミングなどが違うことに「良い」「悪い」もありません。人それぞれ価値観が違うことはあたり前で、意見が違うからといって落ちこんだり、怒ったりするのは疲れます。様々な人間関係の中で、他者の価値観によりそいながら「今、できること」を探して穏やかに進んでいきましょう。

編集後記

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。出会いがあれば別れもあります。ここ桜坂高校で出会った先生方、仲間とのたくさんの思い出を胸に、それぞれの道で活躍する事を期待しています。こどもが高校生になったら、親はあまり学校とは関わらないものだと思いますが、広報の仕事をお手伝いさせていただいた事で、学校に来る機会も増え、こども達の様子も知る事が出来ましたし、何より、私自身が先生方、他の父兄の方々と良い出会いがありました。本当に三年間楽しかったです。こうして、この先も人と人の繋がりでPTA広報紙「桜の丘」が続いて行くのだと思います。今後ともPTA活動へのご協力の程、どうぞ宜しくお願い致します。最後になりましたが、今号の発行にあたりご協力頂いた皆さん、本当にありがとうございました。広報委員長 安部 広美

平成31(令和元)年度 PTA役員名簿

会長 長 与 問 副会長 副会長 顧問 広報委員長 広報副委員長 広報	藤田 純子 寺澤 佐々木 五十嵐 智恵子 菊地 義之 遠藤 賢勝 和藤 祥智 齋藤 松原 松川 豊後	美寿子 寿香子 百茂子 雅代子 悦子 紀子 裕子 文子 かおり 久美子 理恵子 美和子 ともえ	洋康 三浦 相川 浅野 佐々木 鈴木 安藤 大城 今野 芳賀 大壁 横山 大槻	幹事 平田 三佐 藤相川 浅野 佐々木 鈴木 安藤 大城 今野 芳賀 大壁 横山 大槻	知ちか 正博 由美子 広美子 由紀子 美香子 紀子 しこ 重美 えみ 菜由 紀子 順子	藤千高 梨高 遠藤 安部 井千葉 秋山 柏原 熊田 三浦 渡部 伊藤 小野	遠藤 千高 梨高 遠藤 安部 井千葉 秋山 柏原 熊田 三浦 渡部 伊藤 小野	長 与 問 副会長 副会長 顧問 広報委員長 広報副委員長 広報
--	---	---	---	--	---	--	--	--